

北部機械金属業界の景況動向

(2019年7~9月実績/2019年10~12月見通し)

■調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業177社【調査時点：2019年9月下旬】

■回答数：133社（回答率：75.1% ※内訳は以下のとおり）

①市町別 福知山市：27/舞鶴市：19/綾部市：20/宮津市・与謝郡：14/京丹後市：53

②取扱別 一般機械：52/電気機械：15/輸送機械：33/精密機械：15/その他：18

※「一般機械」…工作機械、産業機械部品等/「電気機械」…家電部品、電子部品等
/「輸送機械」…自動車部品、船舶等/「精密機械」…半導体・液晶関連、精密機械部品等

③従業員数別 1~9人：37/10~19人：31/20~49人：37/50~99人：13/100人以上：15

※調査票の郵送によるアンケート調査に加え、一部企業に対し訪問調査を実施。

【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1. 景況動向判断

■実績

7~9月期の業況判断DI（「非常に良い」及び「良い」と回答した企業の割合から「非常に悪い」及び「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲30.8となり、4~6月期（以下「前期」）のDI値▲26.8よりも4.0ポイント低下と、悪化傾向が見られる結果となった。



注：業況判断指数「DI」=（「非常に良い」+「良い」）-（「非常に悪い」+「悪い」）

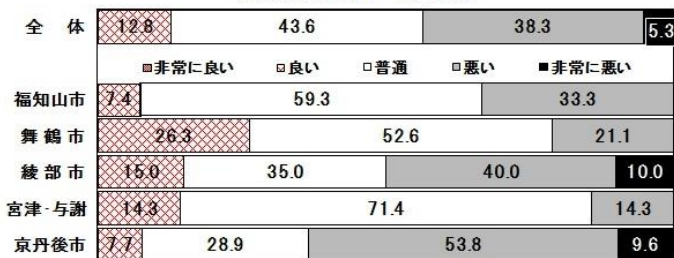
地域別業況判断DI

地域	実績DI			見通しDI		
	前々期	前期	今期	前々期	前期	今期
全体	0.8	▲26.8	▲30.8	▲15.5	▲33.8	▲36.1
福知山市	▲14.2	▲27.6	▲25.9	▲7.2	▲20.7	▲14.8
舞鶴市	10.0	▲5.5	5.2	5.0	5.6	0.0
綾部市	▲4.7	▲25.0	▲35.0	▲28.6	▲36.9	▲55.0
宮津市・与謝郡	▲6.3	▲18.8	0.0	▲18.8	▲37.5	▲14.2
京丹後市	9.8	▲37.3	▲55.7	▲21.5	▲53.0	▲61.6

■見通し

10~12月期（以下「来期」）の見通しの業況判断DIは▲36.1となり、前期調査時のDI値▲33.8よりも2.3ポイント低下と、こちらも実績同様、悪化傾向が見られる結果となった。

景況動向判断7~9月実績



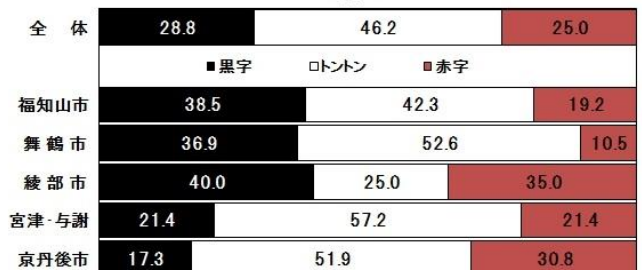
景況動向判断10~12月見通し



7~9月採算状況

2. 採算状況

7~9月期の採算状況は、黒字とする企業が28.8%と、前期の32.3%より3.5ポイント減少した。赤字とする企業は25.0%と、前期の25.4%より0.4ポイントの減少でほぼ横ばいの結果となった。地域別では、前期と比べ、舞鶴市域のみ黒字とする企業の割合が増加し、京丹後市域のみ赤字とする企業の割合が増加した。



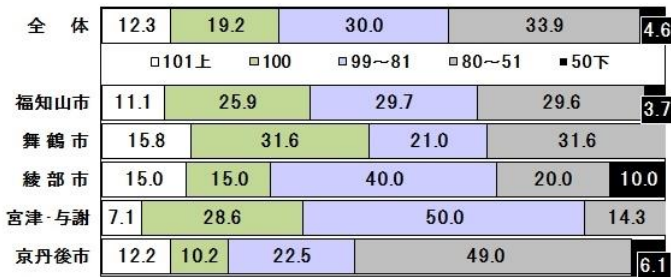
3. 受注量

7～9月の受注量について、対前年同期比100%以上を確保した企業は39.0%と、前期の40.6%より1.6ポイント減少し、地域別では、福知山市域を除くすべての地域で前期より減少した。対3か月比100%以上を確保した企業は45.8%と、前期の50.3%より4.5ポイント減少し、地域別では、綾部市域及び京丹後市域で前期より減少した。

7～9月の受注量の稼働割合について、100%以上とした企業の割合は31.5%と、前期の36.1%より4.6ポイント減少し、地域別では、福知山市域及び舞鶴市域を除くすべての地域で前期より減少した。

10～12月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合が9.2%と、前期の12.1%より2.9ポイント低下の見通し。地域別では、京丹後市域を除くすべての地域で前期より低下の見通し。減少を見込む企業は20.8%と、前期の18.9%より1.9ポイント増加の見通し。地域別では、福知山市域及び舞鶴市域を除くすべての地域で前期より増加の見通し。

7～9月受注量(受注能力を100として%)



4. 受注条件(受注単価/納期)

受注単価が下がったとする企業は6.8%と、前期の11.7%より4.9ポイント低下した。上がったとする企業は1.5%と、前期の0.8%より0.7ポイント増加した。

納期が長くなったとする企業は1.6%と、前期の0.8%より0.8ポイント増加した。短くなったとする企業は10.9%と、前期の11.4%より0.5ポイント低下した。

5. 資金繰り

資金繰りの状況が好転したという企業は3.8%と、前期の5.3%より1.5ポイントの低下。悪化したという企業は14.5%と、前期の14.4%より0.1ポイントの増加でほぼ横ばいの結果となった。

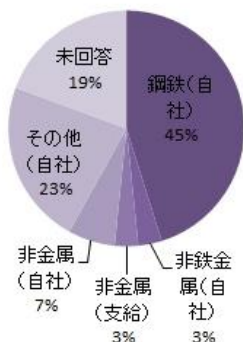
6. 従業員数

従業員数が不足気味とする企業は31.6%と、前期の31.6%から横ばいの結果となった。過剰気味とする企業は13.5%と、前期の11.3%より2.2ポイント増加した。

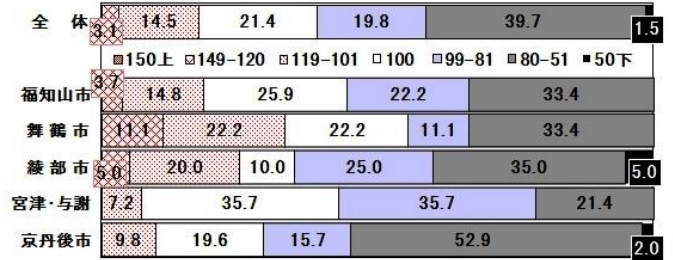
原材料費



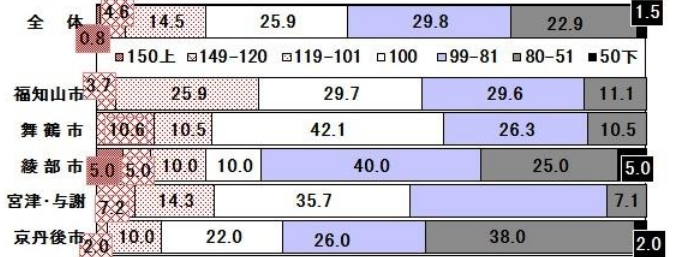
原材料(値上げ)



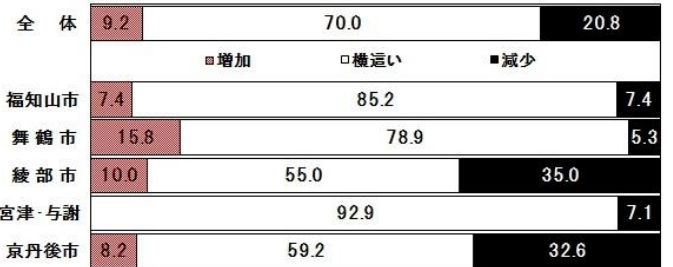
7～9月受注量(前年比%)



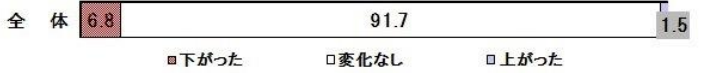
7～9月受注量(3か月前比%)



10～12月受注見通し



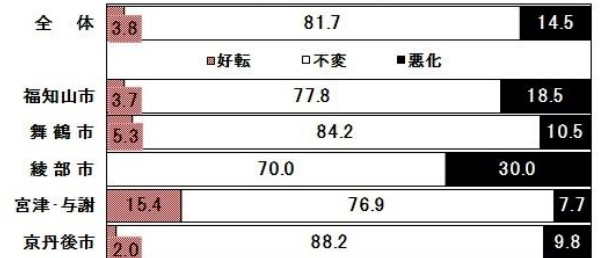
7～9月受注単価(前年比%)



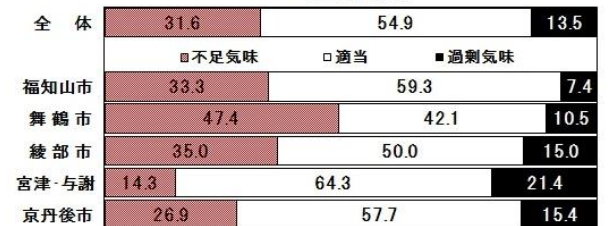
7～9月納期



7～9月資金繰り



7～9月従業員数



7. 原材料価格

原材料価格について、変化なしとする企業が74%（前年56%、前々年58%）、上がったとする企業が23%（前年44%、前々年41%）であった。価格の上った原材料の種類として最も多かった回答は鋼鉄で45%であった（前年27%）。